

## 1 神戸医療産業都市から生まれる医療福祉都市の街

神戸医療産業都市は、震災後の神戸市が、行革を実行しながらも、重点的に取り組んできた、最も大きなプロジェクトです。構想から15年が経過しましたが、スパコン「京」をはじめ14の中核施設と、270以上の医療関連企業が集積し、先ごろ、国家戦略特区の指定も受けました。

今後、再生医療をはじめとする先端医療の研究が進み、産業集積が更に進むことによる市民への雇用の場の拡大、先端医療の市民への提供など、更なる発展のために、私たち議員団も力を入れて取り組むと共に、本プロジェクトの恩恵をたくさんの市民と共有することができるような、医療福祉都市の街づくりも目指していきたいと思ひます。

# 1

## 2 ノスタルジー神戸を継承しながら世界の未来創造都市を目指す街

神戸市では、「未来創造都市」を目指すプロジェクトが始動しました。今後は、都心・ウォーターフロントを中心に、様々な未来の神戸の姿が描かれていきます。私たち議員団は、明治の開港以来、港に運び込まれた異国の文化と融合しながら発展してきた神戸の街の良さを失うことなく、継承しながら、国際的にも世界の中の神戸として新しい街に生まれ変わっていきける未来創造都市を目指します。



# 2

## 3 子育て一番、働きやすさ一番、活動シニア一番の街

「ワークライフバランス」仕事と家庭の両立が叫ばれて久しいですが、子育てと仕事、介護と仕事、また、ご自身やご家族が障がいを持たれていたり、抗がん剤治療など闘病中であった場合など、障がいや病気と仕事の両立も、大きな課題となっています。更に、就労を希望されるシニア世代に加えて、就労とボランティアの中間的な働き方、有償ボランティアを望まれているシニア世代も多いと思ひます。たくさんの「仕事」や「生活」に関する様々なニーズにお応えできるよう、取り組んでいきたいと思ひます。



# 3

## 4 神戸で育って良かったと未来の大人に想ってもらえる街

赤ちゃんから子どもたち、学生さんまで、神戸に住んだり通ったりしている「未来の大人」たちに、何十年先にも同窓会で「あの頃は楽しかったなあ。〇〇して面白かったわー。」と語り合っ、もらえる神戸。いじめをなくす、図書館を充実させるなど、学校教育の充実にも力を入れることはもちろんですが、子どもたちや、学生さんが幸せに、思い出たっぷり過ごせる街を作っていきたいと思ひます。



# 4

## ごあいさつ



団長 池田りんたろう

私ども神戸市会は一昨年、政令市の中で最高位のランク付けとなる政策立案を重視した議会基本条例を制定しました。こうした流れを受け、私たちはこの度「民主こうべ政策議員団」を結成し、市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを、「新たなステージ」に立って市民の皆さまと共に全力で取り組んでいくことをここに決意したところです。

市民の皆さまの付託に応え、しっかりと頑張っていくことを申し添え、あわせてご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

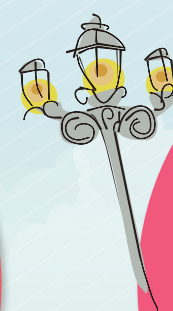
第7条

議会は、二代表制の下、市長と対等で緊張感がある関係を構築し、多様な観点から政策決定を行い、並びに市長等の事務の執行に対する監視及び評価を行うとともに、政策立案に務め、独自の政策提案・提言を通じて、市民福祉の向上及び市勢の発展に取り組むものとする。

## 大きな政策目標



1 神戸医療産業都市から生まれる医療福祉都市の街



2 ノスタルジー神戸を継承しながら世界の未来創造都市を目指す街



3 子育て一番、働きやすさ一番、活動シニア一番の街



4 神戸で育って良かったと未来の大人に想ってもらえる街



6 農業・水産業に重点を置いて、環境と共生できる街



5 地域から人材が育ち、巣立っていく街



8 震災の経験が活きる未来防災と国際貢献できる街



7 身体も心も地域もバリアフリーの街



## 5 地域から人材が育ち、巣立っていく街

自治会やふれあいのまちづくり、防災福祉コミュニティなど、地域の活動を担う人材の後継者育成が急務となっています。また、社会に必要とされることを仕事にしていく、地域活動のNPO育成もこれまで以上に力を入れていく必要があります。

他府県の取り組みなども参考にして、提案していきたいと思ひます。



# 5

## 6 農業・水産業に重点を置いて、環境と共生できる街

神戸には、山があり、海があり、西区・北区には美味しい米・野菜・果物が採れる田んぼや畑が広がり、また、須磨区・垂水区には、イカナゴなど美味しい魚が捕れる海もあります。

耕作放棄地の増加や後継者育成、環境共生など、農水産業が抱える課題に取り組むと共に、今、市が取り組んでいる、農水産物を活用する取り組み、KOBÉ"にさんがるく"PROJECTなどに積極的に携わることで、産業としての活性化につなげていきたいと思ひます。



北区海部のチューリップ

# 6

## 7 身体も心も地域もバリアフリーの街

2013年4月1日より、「障害者自立支援法」は「障害者総合支援法」として施行されました。また、2016年からは、「障害者差別解消法」も施行されることとなります。「障がいがあってもなくても、誰もが分け隔てられず、互いを尊重して、暮らし、勉強し、働いたりできるように差別を解消して誰もが安心して暮らせる豊かな共生社会」の実現が目的の法律です。

これら国の動きに対して、それぞれの障がい者団体などの地域の声や、身近な課題を把握して、法施行に伴う具体的な施策につなげていく必要があります。

また、高齢化が進展する中、バス路線やコミュニティバス、鉄道路線の維持など、地域の足をどう守っていくか、重要な課題として取り組みたいと思ひます。

# 7

## 8 震災の経験が活きる未来防災と国際貢献できる街

来年1月に、阪神淡路大震災からの20年を迎えます。神戸の街は、驚くほどの速さで復興を遂げ、その後、他の国や地域で発生した災害に対して、震災時にいただいた支援へのお返しと共に、災害対処の経験を活かしてもらえよう、様々な支援を行ってきており、今も、東日本の地域では、神戸市の職員が現地で働いています。私たちがこの20年の間に培ってきた災害への対処のノウハウや、いかに、地域で人の絆が大切であったか、また、大切な人を失うことがどんなに辛いことかという、心に沁み込んでいる経験、更には、世界中から、そして、本当に小さな方々からも、いただいたご恩への心の底からの感謝の気持ちを、どうすれば、形にできるか、行政と一緒に考えていきたいと思ひます。

# 8

民主こうべ政策議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161  
http://www.minshu-kobe.jp